

小野利教 とじり 歌人。明治元年十一月播磨國（山崎藩邸）生れ（二八
六一）。號稻園。大藪文雄、上月豊蔭、黒田清綱等と就き國學、和歌
を學ぶ。明治十九年小野氏の養子となり、翌年兵庫縣淡川實業補習學
校教師、三十年神戸新聞社記者、四十四年大阪に轉居し、大阪近松會
幹事となる。また稻園社を設け和歌を教へ、歌誌『みさづく』を創
刊。文教に關心を有ち、前後十七年間教職にありた。なほ赤穂義士の
研究家でもあり、その著作もある。

著書に『和歌流式便覧』（大正七年一月十日大阪・盛文館）等の他、
編纂本に『伴林光平全集』全二冊（大正八年十一月二十日大阪・湯川
明文堂）、『芳麻の眞砂』（室谷賢世遺詠「異泉詠草」）『全二冊（大
正十四年八月）二十五日大阪・室谷鐵腸刊』がある。

